

We supply the best use of space.

2017年12月期第3四半期 決算説明資料

2017年10月27日

Exciting Company 感動とワクワク

エリアリンク株式会社



Arealink Co.,Ltd.

証券コード: 8914

Part- I

決算概況

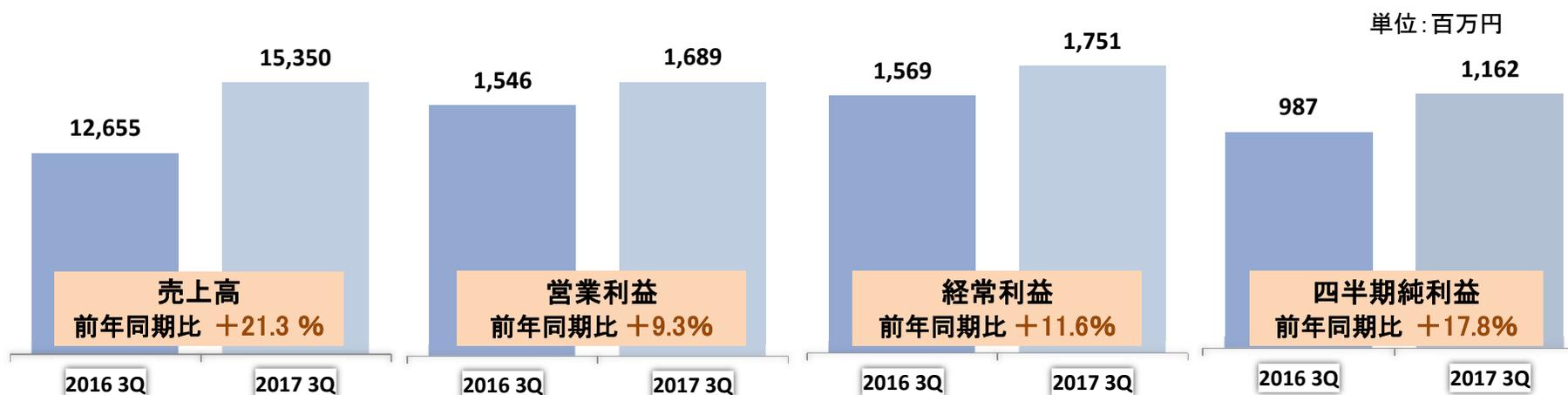
- この資料の数字は億円単位未満四捨五入、百万円単位は切り捨てで表示しています。

各事業への取り組みが順調に進展

- ✓ ストレージの出店、運用は順調に推移、総室数78,273室まで増加
(2016年12月期末と比較し+7,622室)
- ✓ 注力中の土地付きストレージは累計13棟に増加
→第3四半期までには9棟を売却
- ✓ 不動産再生・流動化サービスは底地を中心に順調に推移

2017年12月期第3四半期の概況

ストレージ事業に集中した結果、前年同期比で増収増益



	2016年度 3Q累計(実績)		2017年度 通期計画(期初)		2017年度 3Q累計(実績)		計画比 (期初)		前年同期比	
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)	増減	進捗率	増減	増減率
(単位:百万円)										
売上高	12,655	(100.0)	19,447	(100.0)	15,350	(100.0)	△4,097	(78.9)	2,694	(21.3)
売上原価	9,052	(71.5)	14,413	(74.1)	11,221	(73.1)	△3,192	(77.9)	2,168	(24.0)
売上総利益	3,603	(28.5)	5,034	(25.9)	4,128	(26.9)	△905	(82.0)	525	(14.6)
販売費及び 一般管理費	2,057	(16.3)	2,779	(14.3)	2,439	(15.9)	△340	(87.8)	381	(18.6)
営業利益	1,546	(12.2)	2,254	(11.6)	1,689	(11.0)	△565	(74.9)	143	(9.3)
経常利益	1,569	(12.4)	2,220	(11.4)	1,751	(11.4)	△468	(78.9)	182	(11.6)
四半期純利益	987	(7.8)	1,353	(7.0)	1,162	(7.6)	△190	(85.9)	175	(17.8)

セグメント別利益率

不動産運用サービスは期初予算を売上総利益率、営業利益率とも上回り、順調に推移

単位:百万円

			2016年度3Q(実績)		2017年度(期初予算)		2017年度3Q(実績)	
			実績	利益率	期初予算	利益率	実績	利益率
ストレージ 運用	売上高		6,332		9,654		7,351	
	売上総利益		1,692	26.7%	2,580	26.7%	1,921	26.1%
	営業利益		1,171	18.5%	1,805	18.7%	1,316	17.9%
ストレージ 流動化	売上高		3,978		7,003		5,023	
	売上総利益		1,109	27.9%	1,428	20.4%	1,171	23.3%
	営業利益		515	13.0%	754	10.8%	515	10.3%
その他 不動産運用サー ビス	売上高		1,430		1,889		1,497	
	売上総利益		514	36.0%	580	30.7%	519	34.7%
	営業利益		369	25.9%	408	21.6%	395	26.4%
不動産運用サービス 合計	売上高		11,741		18,547		13,873	
	売上総利益		3,316	28.3%	4,589	24.7%	3,612	26.0%
	営業利益		2,056	17.5%	2,968	16.0%	2,226	16.1%
不動産再生・ 流動化サービス	売上高		914		900		1,476	
	売上総利益		286	31.4%	444	49.4%	516	35.0%
	営業利益		229	25.1%	352	39.2%	382	25.9%
その他(本部経費)	売上高		0		—		0	
	売上総利益		0		—		0	
	営業利益		△740		△1,066		△919	
合計	売上高		12,655		19,447		15,350	
	売上総利益		3,603	28.5%	5,034	25.9%	4,128	26.9%
	営業利益		1,546	12.2%	2,254	11.6%	1,689	11.0%

四半期セグメント別売上高、売上総利益、営業利益

期間損益は引き続き不動産運用サービスが利益貢献の見通し

単位:百万円

		2015年度(通期)	2016年度					2017年度				
			累計	1Q期間	2Q期間	3Q期間	4Q期間	累計	1Q期間	2Q期間	3Q期間	3Q累計
不動産運用サービス	ストレージ運用	売上高	7,455	2,034	2,125	2,172	2,245	8,578	2,348	2,458	2,545	7,351
		売上総利益	1,955	576	587	528	549	2,241	616	610	694	1,921
		営業利益	1,320	399	411	360	351	1,522	441	399	475	1,316
	ストレージ流動化	売上高	3,525	1,509	1,464	1,004	1,347	5,325	1,693	1,660	1,668	5,023
		売上総利益	1,054	416	400	292	423	1,533	448	410	311	1,171
		営業利益	509	223	203	88	213	728	219	181	115	515
	その他不動産運用サービス	売上高	1,999	456	491	482	486	1,916	491	528	477	1,497
		売上総利益	729	174	184	155	152	667	158	200	160	519
		営業利益	546	127	138	104	113	483	116	157	121	395
不動産運用サービス合計	売上高	12,980	4,000	4,080	3,659	4,079	15,820	4,533	4,647	4,691	13,873	
	売上総利益	3,739	1,166	1,172	977	1,126	4,443	1,223	1,221	1,167	3,612	
	営業利益	2,376	750	752	553	678	2,735	776	738	712	2,226	
不動産再生・流動化サービス	売上高	4,192	331	437	146	172	1,087	549	663	264	1,476	
	売上総利益	1,334	121	122	43	41	328	234	204	77	516	
	営業利益	1,170	104	95	28	16	246	185	160	36	382	
その他	売上高	—	—	—	0	—	—	—	—	0	0	
	売上総利益	—	—	—	0	—	—	—	—	0	0	
	営業利益	△889	△220	△259	△260	△305	△1,046	△291	△294	△334	△919	
合計	売上高	17,173	4,331	4,518	3,805	4,252	16,908	5,083	5,310	4,956	15,350	
	売上総利益	5,073	1,288	1,294	1,020	1,167	4,771	1,458	1,425	1,245	4,128	
	営業利益	2,657	634	589	322	389	1,935	670	603	414	1,689	

セグメント別売上高および売上総利益達成率

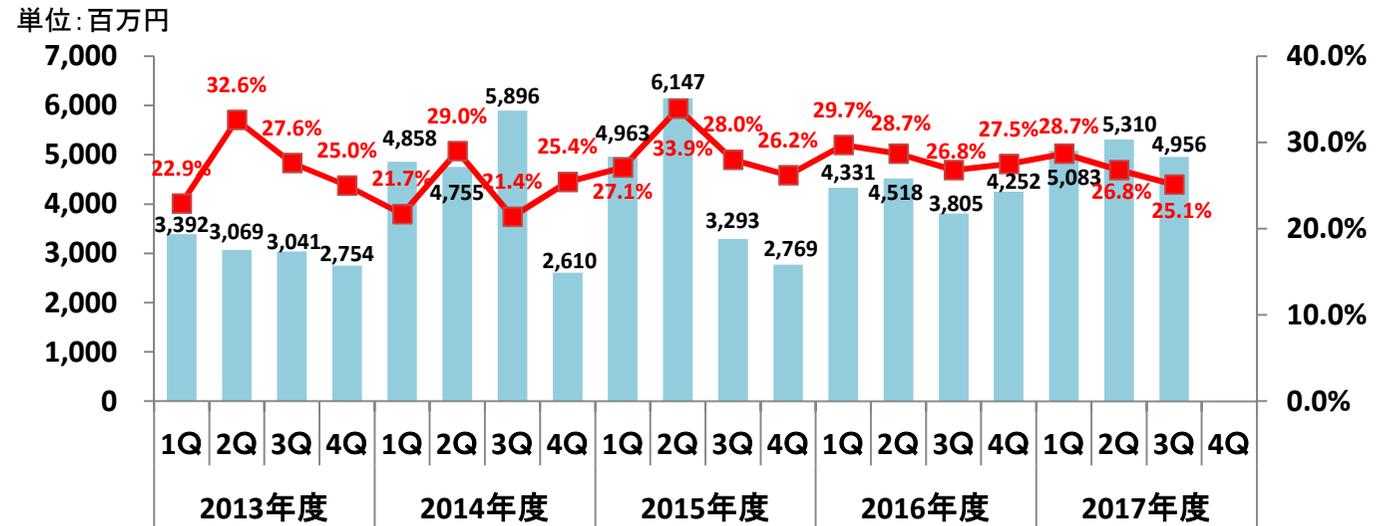
単位: 百万円

		2016年度(実績)		2017年度(期初予算)		2017年度3Q(実績)		
		3Q累計	構成比	期初通期	構成比	3Q累計	構成比	進捗率
売上高	不動産運用サービス	11,741	92.8%	18,547	95.4%	13,873	90.4%	74.8%
	ストレージ運用	6,332	50.0%	9,654	49.6%	7,351	47.9%	76.1%
	ストレージ流動化	3,978	31.4%	7,003	36.0%	5,023	32.7%	71.7%
	駐車場	75	0.6%	—	—	—	—	—
	アセット	766	6.1%	991	5.1%	726	4.7%	73.3%
	SOHO	568	4.5%	786	4.0%	583	3.8%	74.3%
	その他	19	0.2%	112	0.6%	187	1.2%	167.0%
	不動産再生・流動化サービス	914	7.2%	900	4.6%	1,476	9.6%	164.0%
合計	12,655	100.0%	19,447	100.0%	15,350	100.0%	78.9%	
売上総利益	不動産運用サービス	3,316	92.0%	4,589	91.2%	3,612	87.5%	78.7%
	ストレージ運用	1,692	47.0%	2,580	51.3%	1,921	46.5%	74.5%
	ストレージ流動化	1,109	30.8%	1,428	28.4%	1,171	28.4%	82.0%
	駐車場	54	1.5%	—	—	—	—	—
	アセット	285	7.9%	334	6.7%	247	6.0%	73.8%
	SOHO	163	4.5%	151	3.0%	140	3.4%	93.2%
	その他	11	0.3%	94	1.9%	131	3.2%	139.3%
	不動産再生・流動化サービス	286	7.9%	444	8.8%	516	12.5%	116.2%
合計	3,603	100.0%	5,034	100.0%	4,128	100.0%	82.0%	

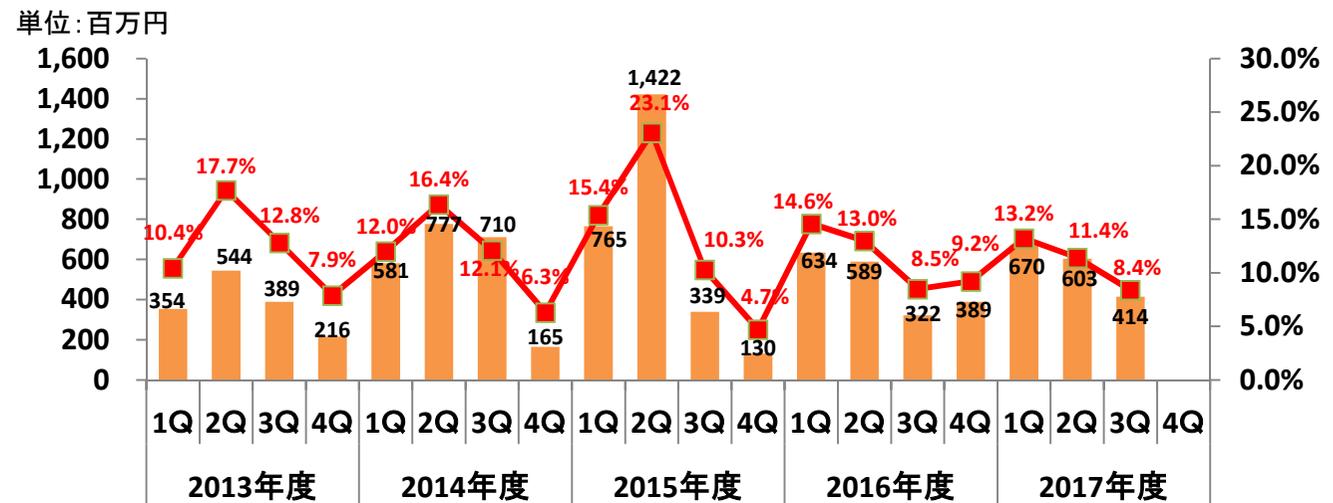
四半期別売上高および営業利益の推移

売上高、営業利益、各利益率ともに計画通りに進捗

売上高と
売上総利益率の推移



営業利益と
営業利益率の推移



盤石な財務体質を維持

財務状況

2017/9末 ※()内は2016/12期末比

資産 27,158百万円 (+3,366百万円)	負債 11,188百万円 (+2,680百万円)	負債
	純資産 15,969百万円 (+686百万円)	純資産

負債・純資産・自己資本比率

■ 純資産
 ■ 負債
 ● 自己資本比率 (%)

(単位:百万円)



(単位:百万円)	2016/12末	2017/9末
流動資産	12,168	14,801
固定資産	11,622	12,356
資産合計	23,791	27,158
流動負債	4,959	4,427
固定負債	3,548	6,761
負債合計	8,508	11,188
純資産合計	15,283	15,969

現金及び預金の減少 8.9億円
 仕掛販売用不動産の増加 30.0億円
 販売用不動産の増加 4.2億円

長期借入金の増加 28.3億円
 短期借入金の減少 4.5億円

四半期純利益による増加 11.6億円
 配当金支払いによる減少 4.8億円

基幹のストレージ事業に代表される不動産運用サービスは
売上高が前期比17.2%増と順調に推移する見通し。
不動産再生・流動化サービスは底地の売買を中心に実施。

※ストレージ事業は以下のセグメント区分の「不動産運用サービス」に属します。

	2016年度		2017年度		2017年度		修正後前期比	
	実績	(%)	期初予想	(%)	修正予想	(%)	増減	増減率
(単位:百万円)								
売上高	16,908	(100.0)	19,447	(100.0)	19,447	(100.0)	2,539	15.0%
不動産運用サービス	15,820	—	18,547	—	18,547	—	2,726	17.2%
不動産再生・流動化サービス	1,087	—	900	—	900	—	△186	△17.2%
営業利益	1,935	(11.4)	2,254	(11.6)	2,354	(12.1)	419	21.6%
不動産運用サービス	2,735	—	2,968	—	3,028	—	293	10.7%
不動産再生・流動化サービス	246	—	352	—	392	—	146	59.5%
本部(消去及び全社)	△1,046	—	△1,066	—	△1,066	—	△20	△2.0%
経常利益	1,968	(11.6)	2,220	(11.4)	2,320	(11.9)	352	17.8%
当期純利益	1,142	(6.8)	1,353	(7.0)	1,416	(7.3)	274	24.0%

配当性向30%を指標に安定配当を継続

1株当たり配当金及び配当性向

	2015／12	2016／12	2017／12 (予想)
1株当たり配当金	3.9円	39円	40円
配当性向	30.9%	41.9%	34.6%

Part- II

2017年12月期 重点施策と下期の対策

➤ 新タイプの土地付きストレージの開発

- ✓ 将来の流動化(ファンド・リート)
- ✓ 駐車場等の設備を備えた2×4※、鉄骨3階建などの土地付きストレージを展開
- ✓ ニーズの高い場所で、幅広い条件(立地、面積)での出店を狙う
- ✓ 認知度の高い都心に建設 — VI導入で広告効果発揮

※ 2×4トランクが日本不動産学会「田中啓一賞」受賞



ハローストレージ船橋栄町
2015年8月オープン



ハローストレージ宮野木プレミア
2015年12月オープン 夜間の様子



ハローストレージ松戸常盤平プレミアコンテナ
2017年3月オープン

- **新タイプの土地付きストレージの開発（続き）**
 - ✓ 人気の高い都心、街道沿いの土地を囲い込み
 - ✓ 女性、高齢者をメインターゲットに
 - ✓ 集客力高く黒字化を早期に実現
 - ✓ ハローストレージ専用設計し、利便性・デザイン性を向上
 - ✓ 新たな資産として投資家に提案



ハローストレージ船橋栄町室内の様子



ハローストレージ宮野木プレミアム室内の監視モニター



ハローストレージ宮野木プレミアムハンドウォッシングエリア

土地付きストレージの事例



ハローストレージ船橋栄町



ハローストレージ宮野木プレミアム



ハローストレージ柏青葉台プレミアム



ハローストレージ埼玉・東越谷プレミアム



ハローストレージ向ヶ丘遊園

➤ 受託ビジネスを本格的にスタート

✓ 受託ビジネスの拡大

- ブランド力やノウハウによる高い集客力で他社物件の募集・保証業務を代行
- 新規開拓の専門チームを設置
- 既存及び新規の他社物件を獲得
- 高い利益構造（1現場あたり初年度30千円／月、2年目以降 80千円／月の利益構造）
- 2017年は50物件の受託を目指す

➤ ストレージ先進市場のノウハウを集積

✓ 米国の物件を購入

- 米国No.4のCubeSmartに管理委託
経営ノウハウを吸収
- 目的：先進の海外市場の構造を分析し、
新たなノウハウを集積。
日本での経営を強化し、シェアを拡大
- 投資額：2016年実績 7.5億円
- 利回り：6% ※第2期工事計画中 増設後、投資利回り7%

CubeSmart(キューブスマート社)の概要

- 本社：ペンシルベニア州マルバーン
- 米国第3位の規模
- 全物件762物件、48万3千室のうち33%(153物件、16万3,000室)を受託で運営
- 米国のストレージ関連の上場REIT 6社の内の1社 ※Self Storage Almanac 2017より

米国CubeSmartへ委託する保有物件



キューブスマートが管理する物件(一例)



航空写真

11月から2期工事が
スタート



管理事務所(外観)



内部通路

保有物件の概要

- テキサス州カレッジステーション
- 計477室
(ストレージ361、パーキング(大型RV用)
114、その他(オフィス、倉庫)2)
- 約11,000坪



敷地内の様子

➤ マーケティングの強化（続き）

✓ 看板営業を通じた不動産オーナーへの 直接受注営業の提案強化

- 不動産オーナーとの関係強化
- 300以上の土地に設置（2017年6月末）



➤ 底地ビジネス:土地権利整備事業

- ✓ 土地オーナーより底地を購入
- ✓ タイミングを計って借地権者に売却
- ✓ 年率3%のリターン、売買益20%(1~2年後)
- ✓ 今後3年で投資60~80億円、売上総利益約20億円を見込む

新規ビジネス参入の条件

既存の投資家(資産家・不動産オーナー)
へのフォローに繋がるものを事業化

Part-III

中期経営計画の 取り組み概要

目標： ストレージ市場シェア50%をめざして

取り組みの概要

- ブランドイメージの浸透
- 受託ビジネスの拡大
- 海外ストレージの購入、ノウハウ集積
- 「直接受注」のパッケージング化
- ストレージの販売事業を将来的にファンド化、リート化



- ✓ 2025年に経常利益100億円、正社員100人
- ✓ 従業員1人当たりの経常利益100百万円の達成を目標に邁進

基幹事業のストレージ事業[※]の売上高は年平均19.2%の成長
2025年には同事業の売上高658億円、営業利益104億円を達成する計画

※ストレージ事業は「ストレージ運用」及び「ストレージ流動化」を指します。

ストレージ事業の売上高、営業利益の見通し



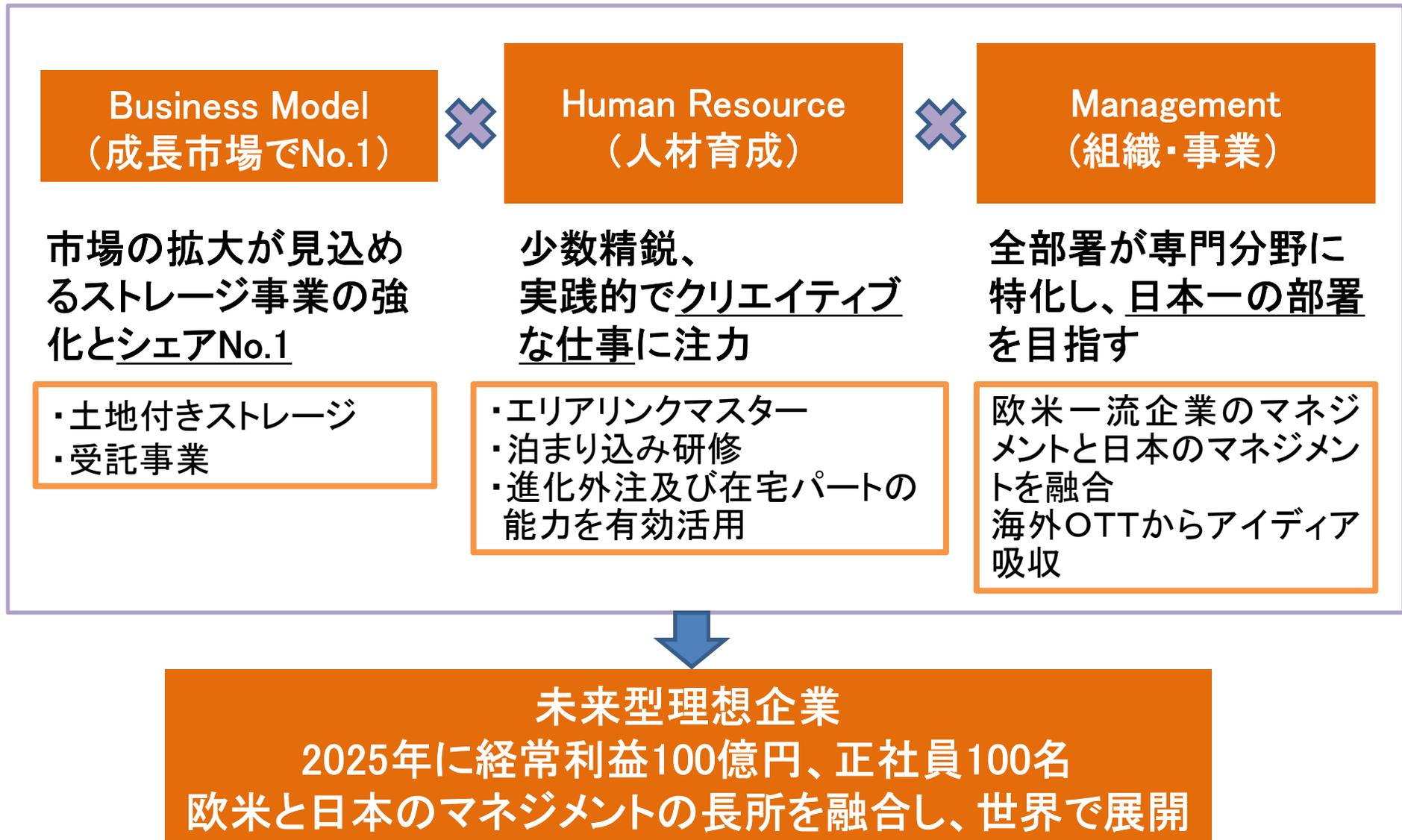
Exciting Company

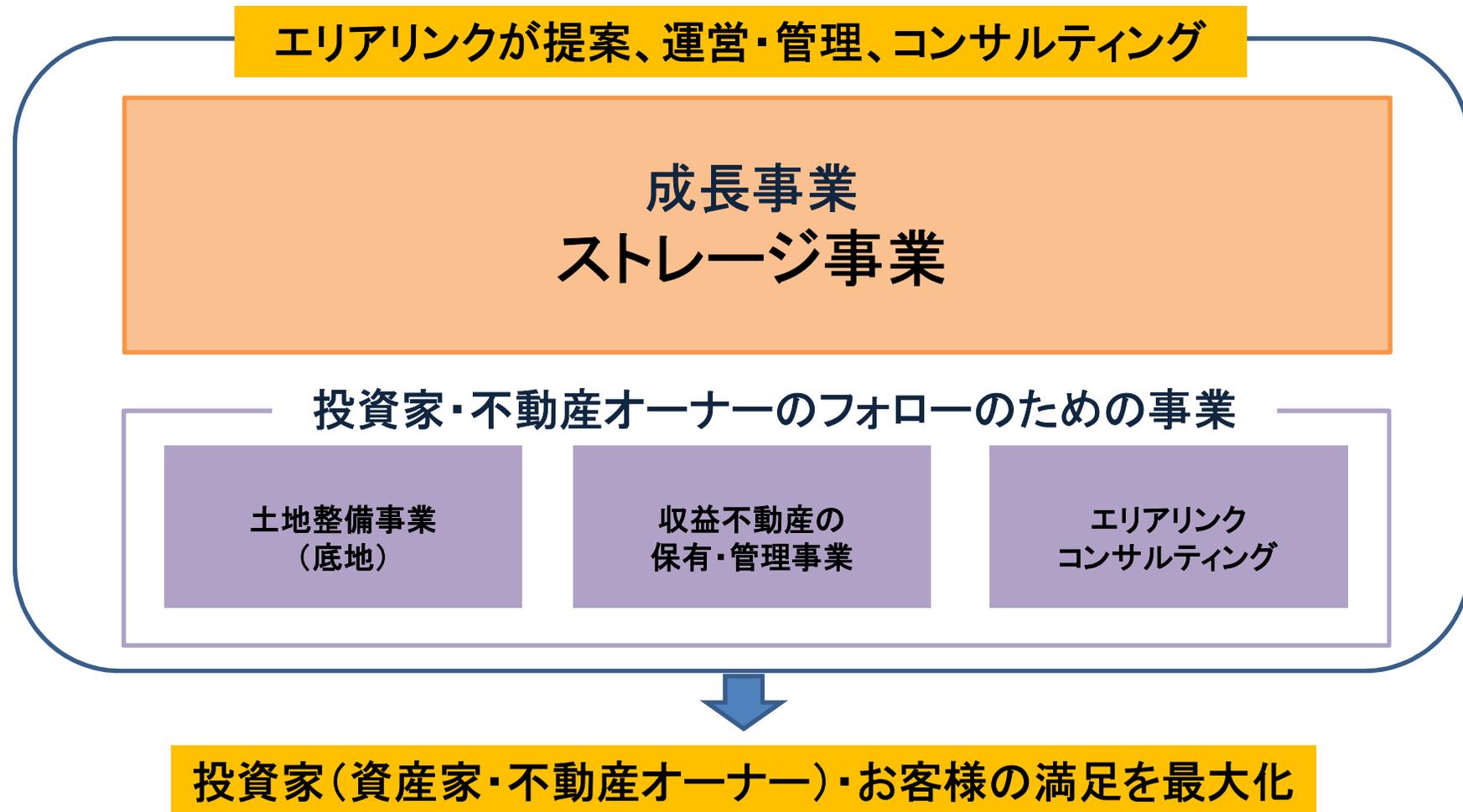
感動とワクワク

世の中に便利さと楽しさと感動を提供する

Part-IV

参考資料





6力年の主要指標

(単位:百万円)

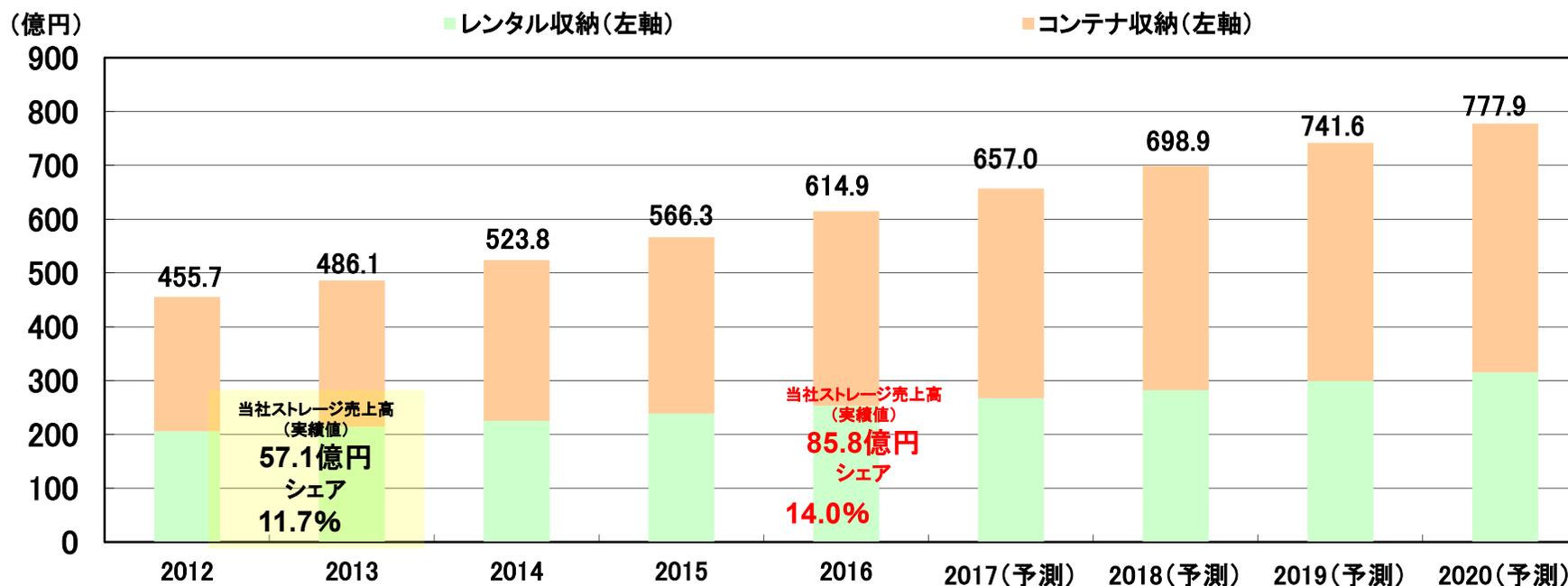
	2011/12	変化率 (%)	2012/12	変化率 (%)	2013/12	変化率 (%)	2014/12	変化率 (%)	2015/12	変化率 (%)	2016/12
売上高	10,603	-4.5%	10,124	+21.1%	12,256	+47.8%	18,120	△5.2%	17,173	△1.5%	16,908
売上総利益	2,365	+11.2%	2,629	+26.8%	3,306	+31.9%	4,360	+16.3%	5,073	△6.0%	4,771
売上総利益率(%)	22.3	+3.5pt	26.0	+1.2pt	26.9	△2.8pt	24.1	△3.9pt	29.5	△1.3pt	28.2
販売費及び一般管理費	1,320	+10.9%	1,464	+24.9%	1,800	+16.3%	2,125	+13.7%	2,415	+17.4%	2,835
営業利益	1,044	+11.6%	1,165	+29.2%	1,505	+48.5%	2,235	+18.9%	2,657	△27.2%	1,935
営業利益率(%)	9.8	+1.7pt	11.5	+0.8pt	12.3	+0.0pt	12.3	+2.4pt	15.5	△4.1pt	11.4
経常利益	953	+12.8%	1,075	+33.3%	1,433	+45.6%	2,087	+17.0%	2,442	△19.4%	1,968
当期純利益	772	+22.7%	948	+42.0%	1,346	+14.4%	1,541	+1.0%	1,550	△26.3%	1,142
ROA(%)	4.3	+1.0pt	5.3	+1.2pt	6.5	+0.7pt	7.2	+0.8pt	8.0	△2.7pt	5.3
ROE(%)	8.0	+1.1pt	9.1	+2.5pt	11.6	+0.4pt	11.9	△0.8pt	11.0	△0.4pt	7.6
有利子負債	5,206	+6.5%	5,545	+41.3%	7,837	△35.1%	2,759	△52.5%	1,311	+265.6%	4,793
総資産	17,266	+7.8%	18,612	+23.7%	23,017	△15.1%	19,539	△1.2%	19,312	+23.2%	23,791
純資産	9,987	+9.5%	10,935	+12.3%	12,282	+10.0%	13,514	+8.3%	14,626	+4.5%	15,283
自己資本比率(%)	57.8	+1.0pt	58.8	△5.4pt	53.4	+15.8pt	69.2	+6.6pt	75.7	+6.6pt	64.2
1株当たり当期純利益 (円)※	62.9	+22.7%	77.2	+42.0%	109.7	+14.4%	125.5	+1.0%	126.3	△26.3%	93.06
1株当たり純資産額 (円)※	813.5	+9.5%	890.8	+12.3%	1,000.5	+10.0%	1,100.9	+5.7%	1,191.4	+4.5%	1,245.09
従業員数(人)	73	+12.3%	82	+19.5%	98	+8.2%	106	+16.0%	123	+1.6%	125

※ 2013年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を、2016年7月1日を効力発生日として普通株式10株を1株に併合する株式併合を行っており、2015年度以前の1株情報の数値は遡及修正しています。

**2020年の国内ストレージ市場は777.9億円まで拡大
当社シェアは、14.0%とトップシェアを維持**

- 国内ストレージ 市場規模(2016年推定値) 614.9億円
- 当社ストレージ 売上高(2016年実績値) 85.8億円 ※ストレージ運用売上高
- 当社シェア(売上高) 14.0%(国内No.1)

収納ビジネスの市場規模の推計(全国)

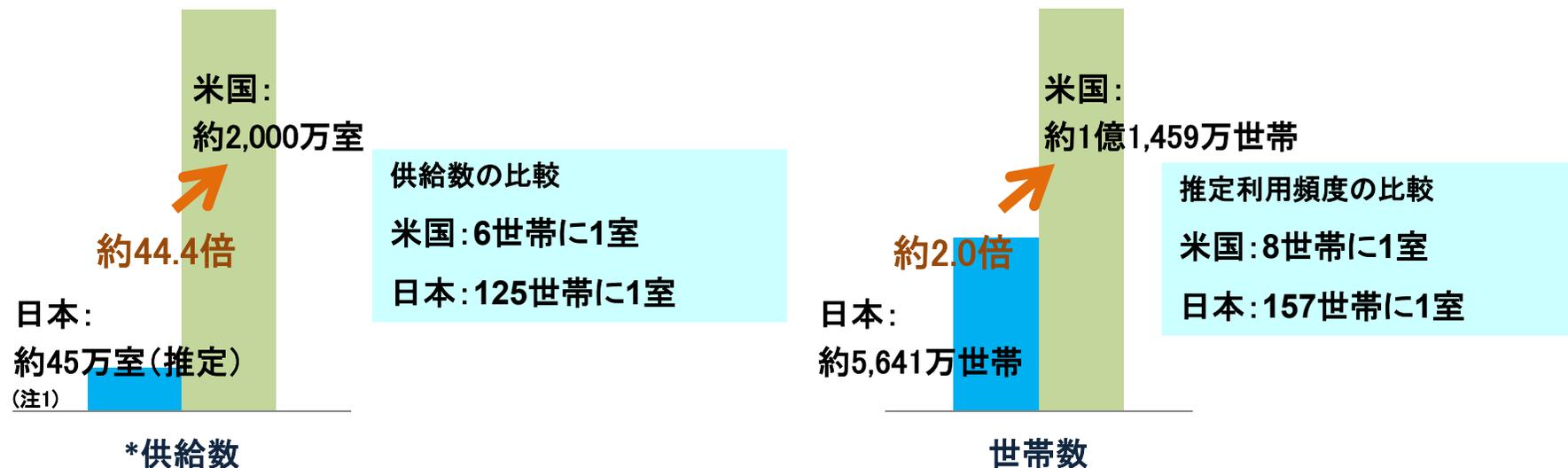


ストレージ事業①：市場規模予測

国内ストレージ市場は、将来、米国並みに拡大すると予想

- 世帯あたりの供給数は米国と比較し、20分の1以下。
- 米国は国内の市場規模の約40倍、約1.76兆円※の市場。
- 国内の潜在需要を発掘していき、市場の拡大を見込む。

米国と日本のデータ比較



日本の推定市場規模と供給数は2015年に当社独自に試算した数値です。(注1)倉庫業とは異なるレンタル収納スペースとしての室数

参照：矢野経済研究所『拡大する収納ビジネス市場の徹底調査』2016年版/全国版(国内) Self Storage Almanac 2015(米国)

※2011年の推定値 1ドル=80円換算(2011年平均)

ストレージ事業②: 競合の状況

■米セルフストレージ業界の上位3社（2016年度）

順位	会社名	店舗数	室数	シェア(店舗数)
1	パブリックストレージ	2,310	N/A*	5.5%
2	エクストラスペース	1,412	946,406	3.4%
3	キューブスマート	762	513,234	1.8%
上位6社(上場企業)計		7,005	2,620,081*	16.7%

参照: Self Storage Almanac 2017
*パブリックストレージ社の室数は非公開のため、除外して計算

■米国シェア1位のパブリックストレージ社

1972年創業

S&P 500 及び FT Global 500 採用銘柄

●営業収益(Operating Revenue)

2,842億円(前年同期比7.5%増)

●当期純利益(Net income allocable to shareholders)

1,613億円(前年同期比10.9%増)

参照: Annual Report 2016より(1ドル=111円換算)

■国内ストレージ市場における当社の位置

	会社名	店舗数	室数	シェア(室数)
1位	エリアリンク	1,208	63,391	14.5%
2位	A 社	1,045	50,460	11.5%
3位	B 社	50	30,244	6.9%
4位	C 社	327	18,124	4.1%
5位	D 社	276	11,969	2.7%
	全体	9,479	437,814	100%

参照: 矢野経済研究所『拡大する収納ビジネス市場の徹底調査』2016年版/全国版(国内)

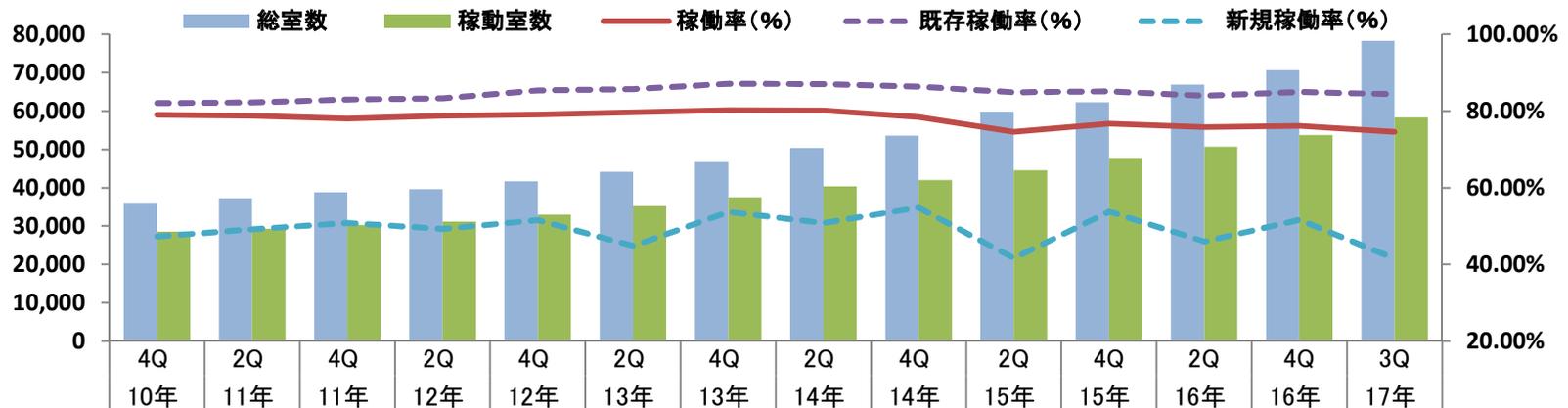


ストレージ事業③: 総室数、稼働室数、稼働率の推移

出店加速もマーケティングの成果により稼働率は高水準を維持。

- ・2017年12月期第3四半期は8,073室の出店と451室の撤退で前期末比7,622室の純増。
- ・2016年12月期は9,246室の出店と920室の撤退で前期末比8,326室の純増。

総室数、稼働室数、稼働率の推移



	4Q 10年	2Q 11年	4Q 11年	2Q 12年	4Q 12年	2Q 13年	4Q 13年	2Q 14年	4Q 14年	2Q 15年	4Q 15年	2Q 16年	4Q 16年	3Q 17年
総室数	36,131	37,267	38,838	39,614	41,698	44,138	46,686	50,422	53,564	59,802	62,325	66,923	70,651	78,273
稼働室数	28,562	29,340	30,290	31,188	32,968	35,177	37,499	40,407	42,009	44,603	47,796	50,739	53,786	58,344
稼働率(%)	79.05%	78.73%	77.99%	78.73%	79.06%	79.70%	80.22%	80.14%	78.43%	74.58%	76.69%	75.82%	76.13%	74.54%
既存稼働率(%)	82.11%	82.28%	83.00%	83.34%	85.41%	85.73%	87.15%	87.06%	86.36%	84.90%	85.19%	84.03%	84.97%	84.39%
新規稼働率(%)	47.36%	49.20%	50.85%	49.30%	51.61%	44.86%	53.77%	50.90%	54.85%	41.63%	53.84%	46.04%	51.69%	41.57%

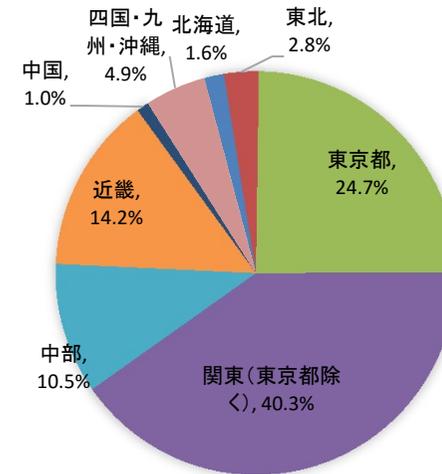
※オープンから2年以上経たものは「既存」、2年未満は「新規」としています。2017年は、2016年～2017年にオープンした物件を「新規」としています。

ストレージ事業④：地域別出店状況

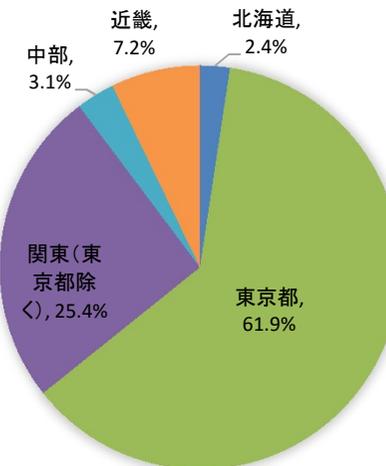
室数：2017年9月末時点

都道府県	コンテナ	トランク	合計	総室数に占める割合
北海道	998	422	1,420	1.8%
宮城	1,695	0	1,695	2.2%
茨城	745	0	745	1.0%
栃木	142	0	142	0.2%
群馬	337	0	337	0.4%
埼玉	7,428	1,044	8,472	10.8%
千葉	9,365	745	10,110	12.9%
東京	14,937	10,827	25,764	32.9%
神奈川	6,502	2,639	9,141	11.7%
新潟	69	0	69	0.1%
富山	116	0	116	0.1%
石川	204	0	204	0.3%
福井	90	0	90	0.1%
山梨	67	0	67	0.1%
長野	58	0	58	0.1%
岐阜	582	0	582	0.7%
静岡	1,184	0	1,184	1.5%
愛知	3,775	498	4,273	5.5%
三重	290	50	340	0.4%
滋賀	154	0	154	0.2%
京都	1,057	152	1,209	1.5%
大阪	3,431	991	4,422	5.6%
兵庫	3,441	106	3,547	4.5%
奈良	577	0	577	0.7%
和歌山	27	0	27	0.0%
鳥取	32	0	32	0.0%
岡山	218	0	218	0.3%
広島	316	0	316	0.4%
香川	147	0	147	0.2%
愛媛	84	0	84	0.1%
福岡	1,692	0	1,692	2.2%
佐賀	79	0	79	0.1%
長崎	118	0	118	0.2%
熊本	156	0	156	0.2%
大分	106	0	106	0.1%
宮崎	109	0	109	0.1%
鹿児島	367	0	367	0.5%
沖縄	104	0	104	0.1%
合計	60,799	17,474	78,273	100.0%

コンテナ



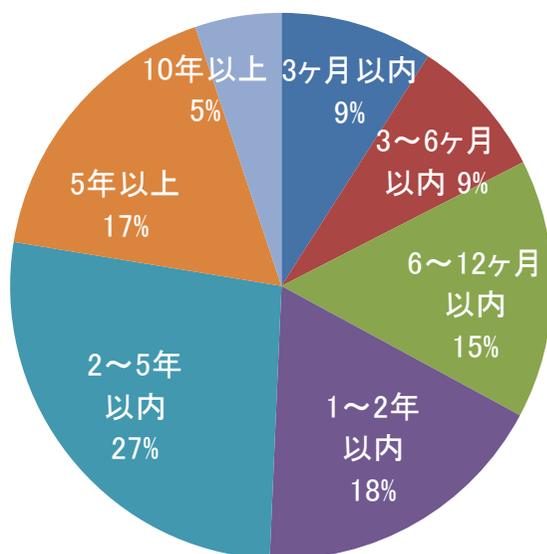
トランク



ストレージ事業⑤:ユーザー分析

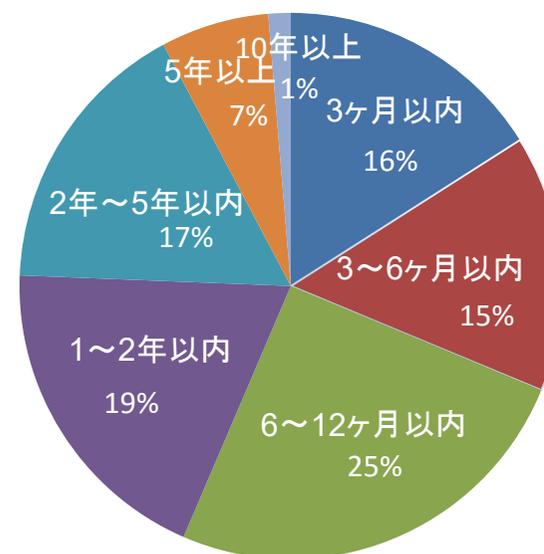
- 契約者の顧客の平均利用期間は3年2ヶ月 (2017年2月時点)
- 解約までの平均利用期間は1年8ヶ月 (2016年実績)
- 月額使用料平均はコンテナタイプ12,165円、トランクタイプ13,707円

契約者の利用期間の分布



※調査対象:2017年2月時点で契約中の顧客

解約者の利用期間の分布



※調査対象:2016年に解約した顧客

不動産運用サービス

基幹事業であるレンタル収納スペース「ハローストレージ」や、収益不動産の保有、「ハローオフィス」「ハロー貸会議室」の運営等の事業。

ストレージ運用事業

レンタル収納スペース「ハローストレージ」を全国で運営する事業。

土地付きストレージ

首都圏の郊外を中心に展開する2×4工法や鉄骨造で建築された屋内型トランクのハローストレージ。建物全体にハローストレージのブランドカラーを配した外観が特徴。

不動産再生・流動化サービス

当社が保有している不動産に小規模な改修を行うことで付加価値を加えて販売したり、権利関係の複雑な底地の販売を行ったりする事業。

ストレージ流動化事業

事業投資家や不動産オーナーに対し、資産・資金の有効活用手段としてのハローストレージを提案する事業。

底地ビジネス(土地権利整備事業)

関係者が多く、調整が複雑な借地権・底地の問題を解決する事業。交渉の代行、底地の購入を通じて、地主様・借地権者様双方を満足へ導く土地再生を実現。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、資料作成時点において、当社が合理的に入手し、可能な情報に基づいて、予測し得る範囲内で判断をし、作成した資料です。

しかし実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または結果など、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的に開示を努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

お問合せ先：エリアリンク株式会社 管理本部
TEL / 03-3526-8556 FAX / 03-3526-8577